

HP OpenView AssetCenter

ソフトウェアバージョン : 5.0

経費コントロールソリューション

ビルド番号 : 104



法的制限事項

保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア

所有、使用、コピーには、HPによる有効なライセンスが必要です。

FAR12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

著作権

(c) Copyright 1994-2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

- Adobe®, Adobe Photoshop® and Acrobat® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Linux is a U.S. registered trademark of Linus Torvalds
- Microsoft®, Windows®, Windows NT® and Windows® XP are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered US trademark of Oracle Corporation, Redwood City, California.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

はじめに	5
このガイドの目的は?	5
このガイドの対象読者は?	5
このガイドの使用方法	6
1. 位置づけ	7
当社の事業について	7
AssetCenterの用途は?	7
HPの進化モデルとは?	8
経費コントロールソリューションとは?	9
2. 経費コントロールソリューション	11
導入フェーズ	11
A. 次のステップ	15
HPに問い合わせる	15
AssetCenter 互換性に関するマトリックス	15
HPの提供情報	16
インデックス	17

はじめに

このガイドの目的は？

このガイドは次の質問に対する答えを提供することを目的としています。

- 経費コントロールソリューションとは？
- AssetCenterの主な利点とは？
- AssetCenterの対象ユーザは？
- AssetCenterが提供するソリューションは？
- AssetCenterはどのように動作するのか？

このガイドの対象読者は？

このガイドはセクション「このガイドの目的は？ [献 5]」に記載されている質問に対する答えを求めるすべてのユーザを対象としています。このガイドでは次の点を念頭に置いて質問にお答えしています。

- **ダイレクトであること:** AssetCenterをインストールしたり、使用する必要はありません。
- **理解しやすいこと:** Windowsのインタフェース機能を用いた実務的プレゼンテーション(▶ [位置づけ](#) [献 7]) と実践的デモンストレーション(▶ [経費コントロールソリューション](#) [献 11]) が収録されています。

特に、AssetCenterの性能評価をご希望の、以下のような方々にもお読みいただけます。

- ジャーナリスト
- 業界エキスパート
- コンサルタント

このガイドの使用方法

「位置づけ」の章

この章では以下について理解します。

- AssetCenterの用途
- AssetCenterが提供可能なソリューションは？
- 会社にとっての管理コントロールソリューションの利点とは？

「経費コントロールソリューション」の章

本章では管理コントロールソリューションについて詳しく説明します。この「ガイドツアー」には数多くのスクリーンショットが含まれます。AssetCenterをインストールする必要はありません。

付録「AssetCenter 互換性に関するマトリックス」

この付録ではAssetCenterの稼動する環境について示します。

付録「次のステップ」

この付録ではAssetCenterをさらに使いこなすための追加情報の入手先について説明します。

1 位置づけ

当社の事業について

HPは、お客様の資産とサービス管理において最大の投資効果を達成させることに、これまで20年以上の経験を積んできました。この長期にわたる経験によって、当社製品へのITIL（IT Infrastructure Library）ガイドラインの導入といった、業界ベストプラクティスを築き上げました。

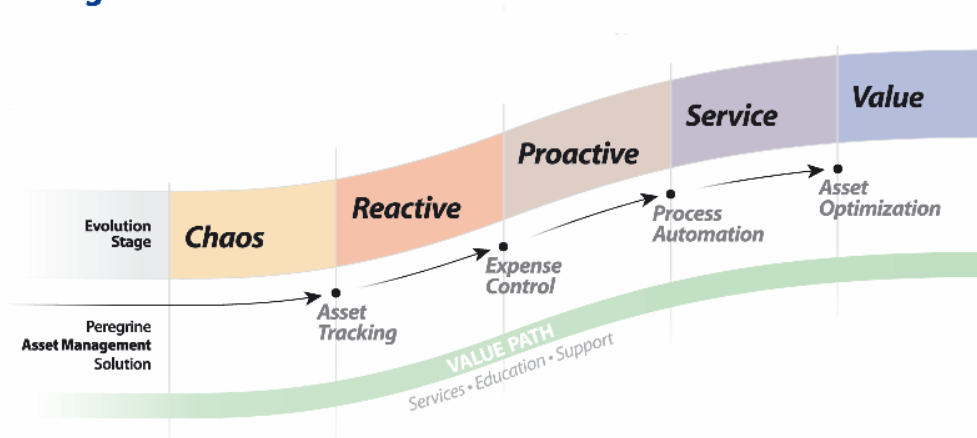


AssetCenterの用途は？

AssetCenterを使って、資産取得や関連コスト（税金、財産、メンテナンス契約、作業指示など）などのポートフォリオ全項目のライフサイクルに関連付けられた資産ポートフォリオとイベント全般の管理を行うことができます。

HPの進化モデルとは？

Peregrine Evolution Model



HPの進化モデルでは、経費コントロールソリューションが企業の効率的IT資産管理の展開にどのように役立つかについて説明します。

製品のカスタマイズ化に関する知識をお客様と共有するため、私たちはHP ValuePathを作成しました。ValuePathとは、HPのベストプラクティスを元にした専門性とお客様のビジネス知識を融合することで成功を確実のものとする、統合型サービスおよびサポートプログラムです。新規のお客様、または製品のアップグレードや新製品のオンライン投入を行おうとしている既存のお客様のどちらであっても、HP ValuePathではHPが提供するさまざまなソリューションから最高の長期的価値を得ることができます。

ペレグリンのValuePathの第2ステージは、資産トラッキングの後にくる、経費コントロールです。経費コントロールからは別のValue Pathソリューションであるプロセスオートメーションと資産オプティマイゼーションへとリンクされています。

経費コントロールソリューションの目的は、お客様をHPの進化モデルにおけるリアクティブなステージからプロアクティブなステージへと進化させることにあります。

経費コントロールソリューションとは？

経費コントロールソリューションは、資産トラッキングソリューションを正しく導入し、企業資産の識別とトラッキングがすべて済んでいる組織を対象としています。

経費コントロールソリューションは現在、次のような難題に直面している組織での使用に適しています。

- 支出コントロール
- 適切な経費付替え手順の導入
- 手順の標準化
- プロアクティブな契約管理

HPの経費コントロールソリューションを使用する組織は次のことが可能になります。

- 契約不遵守による不要なペナルティ（賠償）を回避することができます。
- 予算管理を改善できます。
- 既に所有している資産の価値を最大限高めることができます。
- インテリジェントな予算編成と購入判断が可能です。
- 資産の最適な展開を行う一方で、ライセンス違反を自動的に防止できます。

ペレグリンの経費コントロールソリューションの機能:

- 支出トラッキングの自動化
- 信頼できる経費付替え機能を提供
- 契約履行の強制の自動化
- ソフトウェアの使用状況の識別

結果をどのように評価するか？

経費コントロールソリューションの導入効果は、次の性能指標を用いて判断できます。

- 支出トラッキング機能の強化
- 特定のコストセンタや予算センタへの経費付替え
- ライセンスコストの削減または最適化
- 不手際な契約管理によるペナルティの削減

ソリューションを構成するAssetCenterモジュール

経費コントロールソリューションは次のAssetCenterモジュールから構成されます。

- ポートフォリオ
- ファイナンス
- 契約

本ソリューションに使用されるHP OpenViewコンポーネント

経費コントロールソリューションには、次のHP OpenViewコンポーネントが含まれます。

- AssetCenter
- Connect-It
Connect-It: ソースアプリケーションにデータのクエリを行い、このデータをターゲットアプリケーションにマッピングすることで、アプリケーション間のデータ転送を行います。
- Enterprise Discovery
ペレグリンのDesktop Inventoryを使用する組織は、ITインフラストラクチャを構成するハードウェア、ソフトウェア、ネットワークデバイスなどを自動的に識別し、管理することができます。収集されたデータはAssetCenterデータベースの入力と更新に使用されます。

プロジェクトの前提条件

管理コントロールの導入に当たっては次の前提条件があります。

- 資産トラッキングソリューションの実行前に、AssetCenter、Connect-It、およびEnterprise Discoveryがインストールされていること。
- プロジェクトのチームメンバーは、ペレグリンの教育サービスが実施する、受講必須のAssetCenterトレーニングコース（エンドユーザ、管理者、ソフトウェアライセンスマネージャ、ファイナンスモジュール）を終了していること。
- 本ソリューションはHPの専門サービス導入テンプレートなど、製品にあらかじめ組み込まれた機能を使用しており、最小限のカスタマイズが必要です。
- HP OpenViewアプリケーションに追加されるテーブルはありません。
- このプロジェクトには画面やテーブルのカスタマイズ機能はありません。
- このプロジェクトには外部システムとの統合は含まれません。
- このプロジェクトにはカスタムレポートは含まれません。
- 本プロジェクトの最後に提供される技術ドキュメントは本プロジェクトの記載内容に対応しています。
- Connect-Itは、他のHP OpenViewアプリケーションの統合化ツールとして使用されます。
- Connect-Itのすべてのシナリオはあらかじめ定義されており、カスタマイズできません。
- この提案にはスクリプト作成作業は含まれません。
- AssetCenterのセキュリティプロファイルを変更することはできません。
- アラートおよび通知機能は、ベースシステムの標準として用意されています。
- 本プロジェクトのニーズに応じて、ペレグリンはステータスおよび経費レポートを作成します。
- お客様は、ビジネス要件に必要な書類を用意する責任があります。

2 経費コントロールソリューション

最初に、資産トラッキングソリューションを使用することでも、どのような資産がインフラを構成するか、資産はどこに置かれているのか、またそれらにアクセスするのは誰か、といった重要かつ基本的な質問に対する答えが得られます。

資産トラッキングが終わったあとの次のステップが経費コントロールソリューションです。このソリューションは資産のコストを最初から最後まで完全にコントロールすることができます。つまり、調達、メンテナンス、アップグレード、コンプライアンスといった、資産のライフサイクル全般がコントロールの対象になります。経費コントロールにおいて鍵となる語は「コントロール」です。資産コントロールとは、不要な支出を避け、企業の保有資産を有効活用し、インテリジェントな予算と購入計画を立てることを意味します。

経費コントロールソリューションはこのように、企業が資産に関連する経費をすべて識別、コントロールし、全体的な支出を改善することを支援します。

導入フェーズ

経費コントロールソリューションは、次の複数のフェーズに分けられます。

- 1 経費コントロールワークショップ
- 2 ソフトウェア監査
- 3 リースおよび契約管理
- 4 ソフトウェアライセンスコンプライアンス
- 5 ファイナンス管理
- 6 インフラ展開

7 プロジェクトのドキュメント類

経費コントロールワークショップ

経費コントロールワークショップでは、お客様が置かれた環境をよりよく理解し、経費コントロールソリューションと連携しながら、お客様のITプロセスを補完、支援するためにHP付属のツール機能をどのように使用したらよいか、最も効果的な判断を行います。

このワークショップでは、お客様のチームとHPの問題担当エキスパートが共同して円滑なセッションを行い、お客様の環境への最適なアプローチを探ります。

評価項目には次のものが含まれます。

- 現在の環境分析とプロジェクトのビジネス要件とテクノロジー要件の理解
- HPOpenViewのツールセットをお客様のコンピュータ環境に展開するための戦略的アプローチを推薦

ソフトウェア監査

ソフトウェア監査フェーズでは、Enterprise Discoveryツールを使用して、お客様のコンピュータ環境内のソフトウェアアプリケーションを検出します。アプリケーションが検出された後は、そのアプリケーションの名前や説明を変更することができます。このフェーズには、企業環境内で識別されることのなかった社内アプリケーションを識別する機能もあります。

リースおよび契約管理

このフェーズでは、リースおよび契約管理にリンクされたビジネスプロセスがすべて簡略化され、自動化されます。ワークフローとアクションをカスタマイズして、契約に関する管理上のニーズ（使用期限、更新、リース返却など）が発生すると、それを指定したカスタマチームに通知する機能を付加することができます。

このフェーズで収集された重要データは予算の見積り、契約交渉に特に有効であり、十分な情報が得られることでよりよいビジネス上の決断が行えます。

契約要件の取引条件をトラッキングし、重要な日付（使用期限、更新、返却、購入オプションなど）を遵守することが可能になります。つまり、非遵守によるペナルティを回避し、それによりサプライヤとの関係を強化して契約条件を最も有利にすることを意味します。また、十分な通知を受けることにより、メンテナンス契約を最大限に活用できるようになります。

ソフトウェアライセンスコンプライアンス

ソフトウェアライセンスコンプライアンスのフェーズでは、ワークショップで実際に定義したソフトウェア/使用権利カウンタと規則を作成します。ワークショップ内で定義するソフトウェアアプリケーションの管理を支援するために、HP OpenViewは5つのソフトウェアライセンスカウンタ/使用権利ポリシーを作成します。ソフトウェア監査により検出されたアプリケーション、リース/契約管理フェーズで識別されたソフトウェア契約の内容、カスタマから提供されたソフトウェアライセンス数とのつきあわせは、最終的にこのイニシアチブ（ポリシー）が判断する役目を持っています。ソフトウェアカウンタが示す数がコンプライアンスから外れたときにそれを知らせる管理通知機能を強化するためのワークフローとアクションテンプレートが提供されます。

このソリューションは、ソフトウェア、関連ライセンス、およびその展開プロセスを自動化します。これによりコストの大幅削減、サポートの簡素化、ライセンスの継続検証、および非遵守によるペナルティをバーチャルに回避することができます。

ファイナンス管理

このフェーズでは、実際の経費をHPが提供するテンプレートに沿った予算に照らし合わせて調整します。

実際の経費と予算との調整を行うことで、経費コントロールは運用が財務上の目標どおりに進むことが保証されます。部署ごとの経費カテゴリを定義できるため、経費が自動的にかつ一貫して適切な業務単位に配分されます。このソリューションはライフサイクル全般のコストを同類の資産と比較し、関連コストのより少ない資産を特定できる機能を提供します。また、長期的戦略プランの作成、より適切な購入判断と効率的予算配分にも役立ちます。

インフラ展開

インフラ展開フェーズは本プロジェクトの「中心」と考えられます。このフェーズでは、データはHP OpenViewのツールを用いて収集、分析され、続いて、お客様は目標に応じて、AssetCenterでのデータの構成方法を選択することができます。

このフェーズでは、この他にデータの整合性も確保されます（既存データソース内の重複レコードを除去、一部のデータを大文字で統一、単一資産に関する情報が複数のソースに含まれるときにデータソース全般の一貫性を確立するなど）。

データソースが識別され、不要なものが除去されたら、AssetCenterへのデータのインポートはスムーズに行われます。ペレグリンのConnect-Itを使用しても、またはAssetCenterインポートユーティリティを使用しても、データをAssetCenterにインポートすることができます。カスタマイズやインポートしたデータがワークショップで定義した要件を満たすかどうかを検証するためのテストが行われません。

プロジェクトのドキュメント

各フェーズでの製品のカスタマイズをより深く理解するために、HPはTechnical Design Document (TDD)を提供しています。このTDDは経費コントロールソリューションの導入に関する実務的で詳細な概要を提供します。このドキュメントには、これまでのカスタマイズの方法を確認したり、組織が次のフェーズに進化するにつれてカスタマイズが必要になったときの重要な参考情報が記載されています。

A 次のステップ

次の方法を用いれば、AssetCenterに関するさらに多くの情報が得られます。

HPに問い合わせる

追加情報を得るには、次の連絡先までお問い合わせください。

HP

Matthew Schwimmer (AssetCenter マーケティング)

3611 Valley Centre Drive

San Diego, CA 92130

+1 (858) 720-5254

AssetCenter 互換性に関するマトリックス

互換性のある環境については、HPのサポートサイト www.hp.com/managementsoftware/peregrine_support をご覧ください。

識別子とパスワードについては、HPまでお問い合わせください。

サポートサイトにログオンして、**Product Information/ Asset Management/ AssetCenter/ Compatibility Matrices**の順にアクセスすると、互換性一覧をご覧になれます。

HPの提供情報

HPのWebサイトには様々な情報が掲載されています。

特に、製品ドキュメント、ホワイトペーパー、デモ用ソフトウェア、カスタマレポートなどがご覧になれます。

Webサイトのアドレスは<http://h20229.www2.hp.com/index.html>です。